

MRI検査についての説明

1. MRI検査とは

- ・ MRI(磁気共鳴画像)検査は、強い磁石と電波を使って体内の状態を断層画像として描写する検査です。
- ・ 特に脳や脊椎、四肢や骨盤内に生じた病変に関して優れた検出能力を持っています。狭い空間の中で、工事現場のような音を出しながら撮影を行います。
- ・ 正確な画像を得るために、体は動かさないでください。
- ・ 検査時間は撮影部位によって異なりますが、30分～1時間程かかります。

2. 検査前の注意

① 体内機器・体内金属について

- ・ ペースメーカー・体内除細動器・水頭症の手術でVPシャント術・LPシャント術を行われた場合、強い磁場で埋めこまれている機器が誤作動を起こす可能性があります。該当する場合は検査は行えません。
- ・ 金属を埋め込む整形外科の手術を受けられた場合、素材がMRI対応(チタン・セラミック等)であれば検査は可能です。
- ・ 3ヶ月以内に心臓にステントを入れる手術や、内視鏡でクリップを入れる治療を受けた場合は、素材によって検査を行えないことがあります。
- ・ カラーコンタクトレンズは酸化チタンという金属に分類されるもので着色されており、強い磁石により目に影響を与える恐れがあります。検査前には必ずはずしてください。
- ・ マスカラ・ツケまつ毛・ラメの入った化粧品により火傷の恐れがありますので、検査時にはつけないで来院してください。
- ・ 汗で発熱する衣類(ヒートテック等)の着用によって火傷をする恐れがあります。検査時には着用しないか綿等の素材を着用してください。

② 刺青・アートメイクについて

刺青(入れ墨・タトゥー・彫り物)やアートメイク(眉毛や目の周りの刺青)に使用される色素に「鉄」が含まれているものがあります。

「鉄」がMRIの強い磁石と反応すると、下記リスク等が考えられます。

- ・ 皮膚に火傷が起こる。
- ・ 図柄の色や形が変わったり、メイク部分の変色が起こる。
- ・ 検査中にチクチクするなどの痛みや違和感が起こる。
- ・ 色素周囲での画像の欠損が起こる。

最近の刺青やアートメイクの色素には「鉄」が含まれていないものがあり、検査は行えますが「鉄」が含まれているかどうかは、見た目だけではわかりません。

リスクがある事に納得し同意していただいた時のみ検査を行います。

3. 遠慮なく質問してください。

以上に関して何かわからないことがあれば、担当の医師又は診療放射線技師に申し出てください。

いつでも希望により検査を中止することができます。